

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月3日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【6号機タービン建屋内における仮設ケーブル布設状態の是正について】 6号機タービン建屋地下2階に布設している仮設ケーブルが通路等の妨げになるため、布設状態を是正するよう労働基準監督署より指摘を受けた。 仮設ケーブルの布設状態は計画的に順次是正しており、当該箇所の仮設ケーブルは是正済み。</p>	G II
2	<p>【6号機残留熱除去海水系(B)電動機用冷却水入口側配管排水弁の微小漏えいについて】 6号機残留熱除去海水系(B)電動機用冷却水入口側配管排水弁に微小な漏えい(にじみ程度)を確認。 なお、当該弁からの漏えい状態は、当該系統の待機(停止)、運転中ともに変化がなく、当該系統の機能に影響はない。</p>	G III
3	<p>【電子式線量計(APD)の一時不携帯について】 協力企業作業員が業務終了後、放射線管理区域である重要免震棟から入退域管理棟に移動し、退域しようとした際、APDを重要免震棟に置き忘れたことを確認。 その後、当該APDを回収し、当事者に返却、退域した。 今後、線量評価・入域データ評価後、入域データを修正予定。</p>	G III
4	<p>【窒素ガス封入設備 計装用空気系電動駆動空気圧縮機(A-1)の定例試験中における自動停止について】 停止中の窒素ガス封入設備 計装用空気系電動駆動空気圧縮機(A-1)が定例試験の際、油冷却関連不具合により自動停止した。 今後、点検後、修理予定。 なお、当該系統には、他に電動駆動空気圧縮機を1台、ディーゼル駆動空気圧縮機を2台有しており、機能に影響はない。</p>	G III